



## 6年生志授業から

暖かい日が続き、日増しに春めいてきました。どの学年も、6年生を送る会や卒業式に向けて、準備や歌の練習に力を入れて取り組んでいます。6年生では、総合的な学習の時間に、地域の先生から生き方について教えてもらっています。今年も、竹鼻交番長や力士、フリーアナウンサー、経営者、日本人学校に赴任している教師等、様々な分野で活躍してみえる方から、話を聞くことができました。

その中で、2月14日に聞いた話の一部をお伝えします。

### 3人のレンガ職人の話より（イソップ寓話）

世界中を旅する旅人が、ある町外れの一本道を歩いていると、一人の男が道の脇でレンガを積んでいた。その旅人は、立ち止まって「ここでいったい何をしていますか」と尋ねた。「何って、見れば分かるだろう。レンガ積みが決まっているだろう。俺はここでレンガを積まなきゃいけないんだ。あんたには分からないだろうけど、暑い日も寒い日も、一日中、レンガ積みさ。腰は痛くなるし、手はこの通り」男は、自らのひび割れた汚れた手を差し出して見せた。



もう少し歩くと、一生懸命レンガを積んでいる別の男に出会った。「ここでいったい何をしていますか」と尋ねた。「俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これがおれの仕事でね。この仕事のおかげで家族を養っていけるんだ。大変だなんて言ったら罰が当たるよ。」と話した。

また、もう少し行くと別の男が、活き活きと楽しそうにレンガを積んでいた。旅人は「ここでいったい何をしていますか」と尋ねた。「ああ、俺たちは、歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだよ。ここで多くの人が祝福を受け、苦しみを払うんだぜ、素晴らしいだろ」……中略

この話をされた後、3つの言葉を教えていただきました。「作業」「仕事」「志業」です。自分が今、やっていること（勉強）が「作業」になっているか、「仕事」「志業」になっているのかでこれからの生き方が違ってくると話されました。



目的がしっかりと、その目的を果たすためにどんな貢献ができるかを考えるからこそ、よりよく生きようとすることができ、積極的に関わる姿勢が生まれてくるものです。

「自分は作業しかやっていた。」「これからは、失敗を恐れずに挑戦したい。」……これからの生き方に繋がる素敵な話を聞くことができ、子供たちも気持ちを新たにしました。

## 6年生を送る会での素敵な姿！

2月21日に、6年生を送る会が開かれました。スローガンは、「6年生に感謝の気持ちを伝えられるような最高の会にしよう」です。それぞれの学年が、6年生へ感謝のメッセージを伝えました。

1年生は、みんなピクミンになって元気よく替え歌や劇でお世話になったことを伝えました。2年生は、呼びかけと器楽演奏で、なかよし遊びでうれしかったことを表現しました。

3年生は、登校班のことを呼びかけて伝えました。「ありがとう」の文字にあたたかさを感じました。4年生は、クラブ活動での6年生との思い出を一人ずつ発表しました。

5年生は、オープニングの「威風堂々」の合奏もすばらしかったですし、準備や運営に至るまで常にリードしてきました。とても、堂々としていて、最高学年になる自覚や責任も感じられました。

6年生からは、はなむけの言葉と歌のプレゼントでした。各学年との思い出と、はなむけの言葉と呼びかけて伝えた後、合唱を行い、引き継ぎ式を行いました。とても自信にあふれていて立派でした。1年間、全校のみんなのためにありがとう。そして、中学校でも優しさや勇気をまわりに与え続けてほしいです。

